

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生関連) 効果検証

資料1-2

事業名	まほろば里山ランド(弘法山公園)を舞台に取り組む森林観光都市の推進【地方創生推進タイプ】					事業開始	令和5年度～7年度　<3年間>			
全体概要 (目的)	市内3駅を結ぶ周遊観光拠点として、弘法山公園及び周辺における誘客、周遊促進、地域活性化を図るための指針となる「弘法山公園利活用方針」の策定と、関連事業を展開するもの。									
<事業実施状況>										
年度	実施内容	事業費 (うち、交付金)	重要業績評価指標(KPI)				事業評価(自己評価) (①非常に有効であった ②相当程度有効であった ③効果があった ④効果がなかった)		外部有識者の評価 (①有効であった ②有効ではなかった)	
			指標	目標値(累計)	実績値(累計)	達成率				
R5年度	○「弘法山公園」及びその周辺について、身近な自然に親しむことができる場としてより多くの市民に利用されるとともに、市内3駅(秦野・東海大学前・鶴巻温泉駅)を結ぶ周遊観光拠点として、誘客及び周遊促進、地域活性化を図るため、「弘法山公園利活用方針」を策定した。 ○また、ポスターの作成や地元タウン紙への掲載、インフルエンサーを活用したSNS広報を行い、市内外に向けて積極的にPRした。	6,016,900円 (3,008,450円)	KPI①:小田急小田原線3駅(秦野駅、東海大学前駅、鶴巻温泉駅)の年間乗降客数	35,096,437　人	30,871,700　人	88%	②相当程度有効であった	【KPI達成/未達成の要因分析】 OKPI①「3駅の年間乗降客数」については、PRに努めたが、依然コロナ禍前の水準には至っていないため、Web会議の推進など、社会情勢の変化も一つの要因であると考えられる。 KPI②、③については、市民向けのPRをはじめ、マルシェ開催が来訪につながったと考えられる。 【評価】 ○当初の計画通り、利活用方針の策定や市内外への広報宣伝を進めることができた。 ○目標値については、「3駅の年間乗降客数」以外は上回っているため、一定の事業効果を発揮している。		
			KPI②:弘法山公園への年間観光客数	384,382　人	501,356　人	130%				
			KPI③:弘法山公園を活用したイベント参加者数	2,500　人	7,360　人	294%				
R6年度 【計画】	○令和5年度に策定した「弘法山公園利活用方針」に基づき、弘法山展望デッキやハイキングコースの道標等を整備するほか、広報はだの特集号の発行や登山系Webサイトへの広告掲載など、PRを行う。 ○また、今後の施策につなげることから、飲食需要等を把握するため、「キッチンカーの年間出店」の実証実験を行う。	13,640,000円 (6,820,000円)	KPI①:小田急小田原線3駅(秦野駅、東海大学前駅、鶴巻温泉駅)の年間乗降客数	35,099,437　人	－　人	－%				
			KPI②:弘法山公園への年間観光客数	464,382　人	－　人	－%				
			KPI③:弘法山公園を活用したイベント参加者数	3,500　人	－　人	－%				
R7年度 【計画】	○令和5年度に策定した「弘法山公園利活用方針」に基づき、正面玄関である「旧めんようの里」に園路を整備するほか、パンフレットの作成やインフルエンサーを活用したSNS広報、登山系Webサイトへの広告掲載など、PRを行う。 ○また、実証実験「キッチンカーの年間出店」の結果に基づき、馬場道広場への電源整備を行う。	9,815,000円 (4,907,000円)	KPI①:小田急小田原線3駅(秦野駅、東海大学前駅、鶴巻温泉駅)の年間乗降客数	35,102,437　人	－　人	－%				
			KPI②:弘法山公園への年間観光客数	624,382　人	－　人	－%				
			KPI③:弘法山公園を活用したイベント参加者数	4,500　人	－　人	－%				

まほろば里山ランド(弘法山公園)を舞台に取り組む 森林観光都市の推進について(令和5年度)

令和6年12月17日
環境産業部観光振興課 作成

【1. 事業概要】

(1) 目的

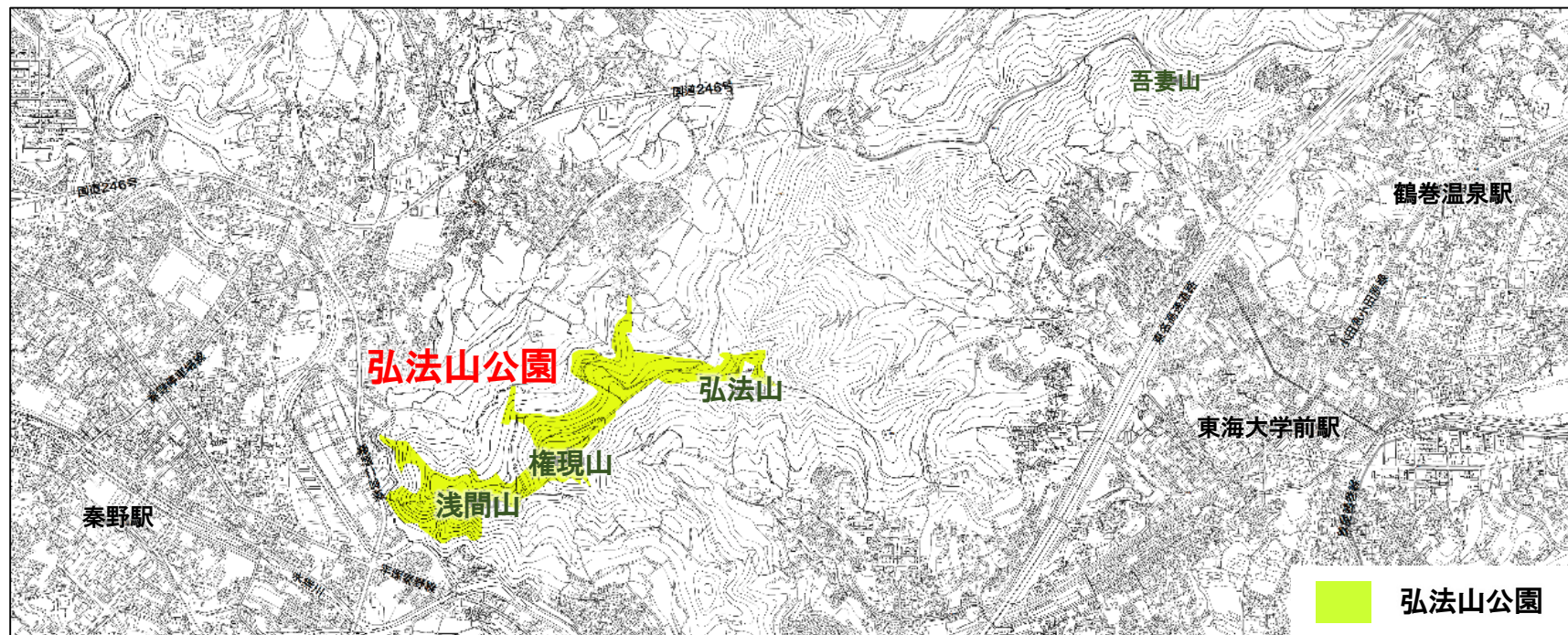
弘法山公園及びその周辺について、市内3駅（秦野・東海大学前・鶴巻温泉駅）を結ぶ周遊観光拠点として、誘客・周遊促進・地域活性化を図ることを目的としています。

具体的には、市内外向けの広報宣伝に取り組むほか、「秦野市弘法山公園利活用方針」を策定し、方針に基づいた事業を展開します。

(2) 補助金等

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）を活用した3か年事業です。

（令和5年度～令和7年度が交付金の対象）



【1. 事業概要】

※ 弘法山公園について

秦野駅周辺市街地の東北東に近接する、浅間山（196m）、権現山（243m）、弘法山（235m）の3つの山一帯のことを指し、県立丹沢大山自然公園に指定されています。園内にはベンチやテーブル、公衆トイレを設置しています。

また、四季折々の動植物を楽しめるほか、低山のため、ハイキングや散策に最適です。権現山山頂の展望台からは、360度の眺望も楽しめます。



【2. これまでの経過】

(1) 「秦野市総合計画」における「弘法山公園」の位置付け

令和3年3月に策定した「秦野市総合計画はだの2030プラン」では、「鶴巻温泉駅、東海大学前駅、秦野駅周辺のにぎわいづくりに向けた源泉や弘法山公園等の活用」として、施策の一つに位置付けられています。

主な施策・事業 ☆：新規又は一部新規 ★：ハード	主な内容
鶴巻温泉駅、東海大学前駅、秦野駅周辺のにぎわいづくりに向けた源泉や弘法山公園等の活用(★)	<ul style="list-style-type: none"> ● 大山、鶴巻温泉駅間のバス運行に合わせたソフト的な誘客事業の展開 ● 弘法の里湯施設の維持管理(リニューアル改装) ● 弘法の里湯と名水はだの富士見の湯の連携サービス ● <u>弘法山公園を活用した鶴巻温泉駅、東海大学前駅、秦野駅周辺の地域活性化策の検討</u>

※ 「秦野市総合計画はだの2030プラン」から抜粋

(2) 各Webアンケート結果から見る「弘法山公園」

令和3年3月に策定した「第2期秦野市観光振興基本計画」における各Webアンケート結果から、市外の来訪者にはよく利用されていますが、市民の利用は高くないことが分かっています。

ア 都市住民（1都3県（神奈川・埼玉・千葉）20歳以上の男女442名）

⇒ 観光資源の来訪経験

「弘法山公園」は2番目（約4割）。1番目は「鶴巻温泉」（約6割）。

イ 市民（20歳以上の男女400名）

⇒ 観光資源の利用

「弘法山公園」は12番目（21.2%）。1番目は「水無川」（49.9%）。

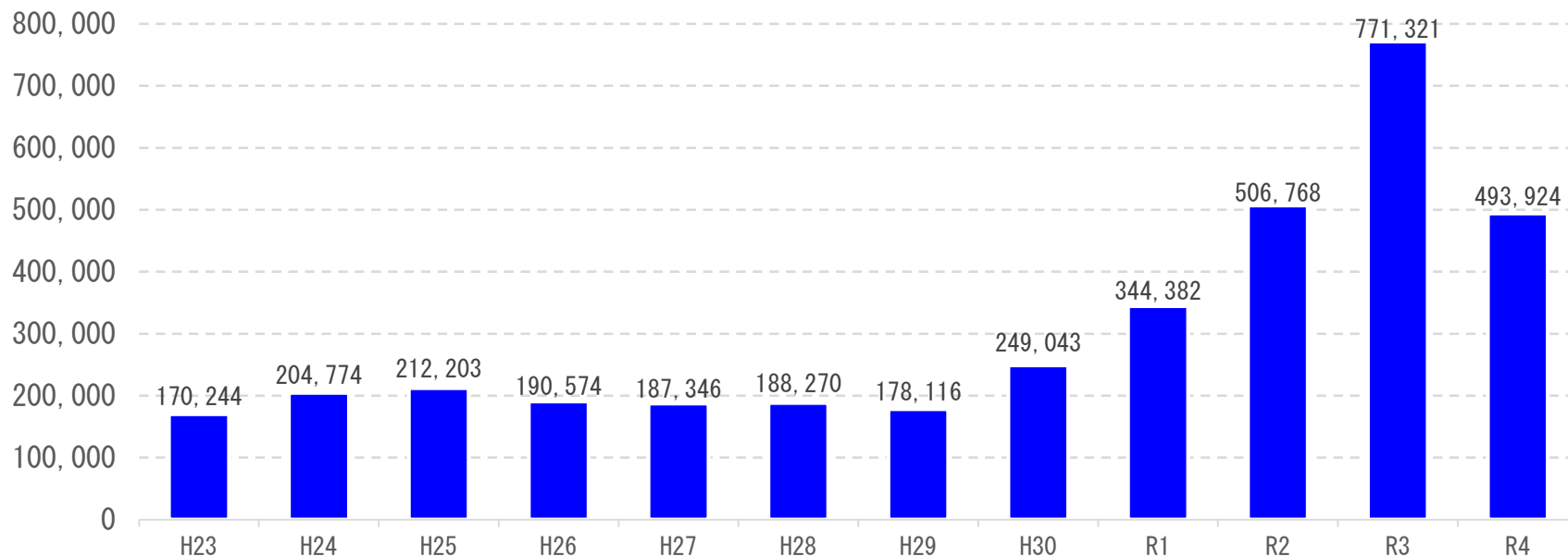
【2. これまでの経過】

(3) 秦野市弘法山公園利活用方針検討会議の設置

弘法山公園における観光振興施策の検討や方針の決定などをするため、関係14課による庁内検討会議を令和4年11月に立ち上げました。令和4年度は3回開催し、弘法山公園における地域資源や各課の取組、現況等を情報共有するとともに、方針の大まかな方向性を協議しました。

(4) 「弘法山公園」来訪者数の推移

弘法山公園の来訪者数について、平成23年～平成29年までは、17万人～20万人の間を増減していましたが、平成30年から令和4年までは増加傾向にあります。



※ 令和3年は新型コロナウイルス拡大の影響により、調査基準日が2月から花見の時季である3月下旬にずれ込んだため、例年よりも大幅に増加しています。

【3. 令和5年度の主な取組】

(1) 「秦野市弘法山公園利活用方針」の策定

弘法山公園及びその周辺について、魅力の向上を図り、来訪者の増加や消費拡大等に結び付けるため、「秦野市弘法山公園利活用方針」の策定に取り組みました。

(協議会3回、庁内検討会議2回、関係団体ヒアリング2回、アンケート調査(来訪者、関係者))

区 分	時 期
協議会	R5. 6/14(水)、10/13(金)、R6. 2/13(火)
関係者アンケート	R5. 7月中
来訪者アンケート	R5. 7/24(月)、28日(金)、30日(日)、 8/ 1(火)、5日(土)
関係団体ヒアリング	R5. 8/25(金)、R6. 12/15(金)
庁内検討会議	R5. 10/23(月)、R6. 2/19(月)

ア プロポーザル方式による委託事業者の選定

5事業者の中から選定した委託事業者(株式会社総合設計研究所)とともに、地域資源や現状、課題等を整理し、方針の策定を進めました。

イ 秦野市弘法山公園利活用方針策定検討協議会の設置

学識経験者や商業・農業・公共交通事業者、自治会連合会等の関係者23名による協議会を立ち上げ、方針の内容や観光振興施策などに対する助言や意見をいただきました。

ウ 各アンケート調査やヒアリングの実施

弘法山公園に対する潜在的なニーズを調査・把握し、課題抽出につなげるため、来訪者や地域住民、関係事業者にアンケート調査を実施したほか、公園を拠点に清掃活動等をしている団体と意見交換をしました。

【3. 令和5年度の主な取組】

エ【参考】「秦野市弘法山公園利活用方針」の体系図

基本理念	基本方針 1	取組方針
	弘法山公園の持つ“豊かな観光資源の魅力アップ” 【解決すべき主な課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ エントランスの明確化、道標整備、園路のバリアフリー化 ・ 豊かな自然環境や優れた眺望の保全・活用 ・ 車や新たな交通アクセスの強化 ・ 歴史・文化資源のPR 等 	① 公園エントランスの明確化 ② 車や新たな交通アクセスの強化 ③ 桜や紅葉をより楽しめる演出等 ④ 快適な眺望スポットの創出 ⑤ 夜景スポットの安全性確保 ⑥ 野鳥観察の魅力向上 ⑦ 歴史・文化資源の魅力PR
	基本方針 2	取組方針
	豊かな自然を活かした“弘法山公園の新たな魅力づくり” 【解決すべき主な課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 眺望や自然環境を活かした休息・飲食空間等の導入 ・ 自然観察・学習機能の強化 等 	① 緑に囲まれた休息空間の創出 ② 風光明媚な飲食空間の創出 ③ 自然観察・学習機能の創出 ④ 農業体験空間の創出 ⑤ 森の中のピクニック空間の創出
	基本方針3	取組方針
	弘法山公園を核としたネットワーク強化による“3 駅のにぎわいづくり” 【解決すべき主な課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 弘法山公園を活用した3 駅周辺の活性化、サインの充実 ・ 3 駅からのハイキングコースの適正管理 等 	① 弘法山公園を核とした地域活性化方策の展開 ② 3 駅や国道246号からの交通利便性の向上 ③ 地域と連携した弘法山公園活性化の取組推進 ④ 地域と連携した里山利用拠点の創出

「気軽にお出かけ「弘法の郷」
 悠々たる魅力と3 駅にぎわいの創出」

【3. 令和5年度の主な取組】

(2) 各種広報宣伝の実施

次のKPI達成に寄与しました。

- ・「弘法山公園への年間観光客数」
- ・「弘法山公園を活用したイベント参加者数」

ア ポスターの作成（市民向け）

四季を感じられるポスターを作成し、市内の公共施設をはじめ、宿泊施設や郵便局、金融機関等に掲出しました。

【規格等】

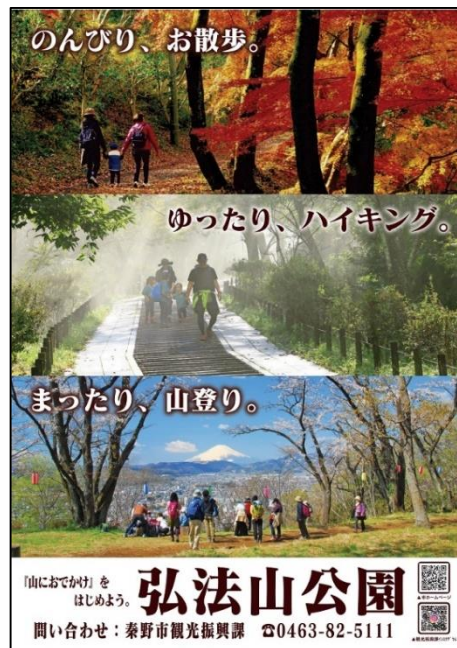
規格 A2サイズ
部数 100部
配付先 90箇所

イ タウンニュースへの広告掲載（市民向け）

ハイキングに絶好の時季を狙い、特集広告を掲載し、来訪を促しました。様々な楽しみ方ができるように、歴史にまつわるコラムやイベント情報、温泉施設のクーポン券も掲載しました。

【発行部数等】

発行日 R5. 11. 17号
発行部数 35, 140部
クーポン実績 348名（市内326名、市外22名）



← 四季の写真を活用したポスター



魅力がギュッと詰まった特集広告

【3. 令和5年度の主な取組】

ウ インフルエンサーを活用したSNS広報（市内外向け）

弘法山公園のさらなる認知度の向上、観光客の誘致及び市内経済の活性化につなげるため、登山YouTuberのかほさん（登録者数32万人）を活用し、弘法山公園が有する自然環境や周辺の地域資源、アクセスの良さ等をYoutube動画にて発信いただきました。

取材日	令和5年11月22日（水） 午前8時～午後3時
コース	① 秦野駅⇒弘法の清水（湧水ゲット） ② 弘法の清水⇒市街地 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国登録有形文化財「五十嵐商店」（紹介） ・ 立花屋茶舗（お茶の葉ゲット） ・ 青柳菓子店（夕暮最中ゲット） ③ 市街地⇒権現山山頂（休憩） ティータイム（湧水×お茶の葉＋夕暮最中） ④ 権現山山頂⇒鶴巻温泉駅（昼食） トラットリア ピノーロ（ジビエ）
動画公開日	令和5年12月6日（水） 午後6時
視聴回数	約9万6,000回（令和6年1月31日現在） 約13万8,000回（ 〃 11月25日現在）
協力店舗アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再訪につながっている。（五十嵐商店） ・ 同じ商品を購入された。今までの広報で一番反響があった。（立花屋茶舗） ・ 思っていたよりも反響が大きかった。（青柳菓子店） ・ 効果が長持ちしている。口コミによる来店も多い。（トラットリア ピノーロ）



目を引くように富士山をバックに
Youtube動画のサムネイル画像を撮影

視聴回数も伸びているほか、実際に同じコースを巡る来訪者が多く、全ての協力店舗で効果を実感いただくことができた。

【4. 令和6年度の主な取組】

(1) 権現山バードサンクチュアリの改修

利活用方針	方針1 弘法山公園の持つ“豊かな観光資源の魅力アップ” ⑥ 野鳥観察の魅力向上
取組根拠	・ 来訪者のニーズ有り（例年、観光振興課に要望有り） ・ 施設の老朽化（建設から30年が経過）
施工期間	令和7年2～3月（予定）



↑ 特に破損が激しい箇所（上写真）

改修前の権現山バードサンクチュアリ（右写真）→



【4. 令和6年度の主な取組】

(2) 弘法山展望デッキの整備

利活用方針	方針2 豊かな自然を活かした“弘法山公園の新たな魅力づくり” ① 緑に囲まれた休息空間の創出
取組根拠	<ul style="list-style-type: none">・ 来訪者及び地域関係者ニーズ有り・ 弘法山公園で1番の相模湾眺望スポット
施工期間	令和6年10月3日～12月3日



↑ デッキからの眺望（上写真）



整備した弘法山展望デッキ（右写真）→

【4. 令和6年度の主な取組】

(3) 【実証実験】キッチンカーの年間出店

利活用方針	方針2 豊かな自然を活かした “弘法山公園の新たな魅力づくり” ② 風光明媚な飲食空間の創出
取組根拠	<ul style="list-style-type: none">・ 飲食施設の整備について、来訪者及び地域関係者アンケートで6割以上が要望・ 実証実験により、①飲食環境の評価（出店者）、②飲食環境の定着（利用者）、③近隣店舗への影響（周辺店舗）を把握し、令和7年度の取組につなげる。
実施期間	令和6年4月27日～令和7年3月31日



実証実験の様子

【4. 令和6年度の主な取組】

(4) 道標等の整備

利活用方針

方針3 弘法山公園を核としたネットワーク強化による“3駅のにぎわいづくり”
② 3駅や国道246号からの交通利便性の向上

取組根拠

- ・ 来訪者及び地域関係者ニーズ有り（来訪者の自由意見では1番多く要望）
- ・ 東海大学前駅～弘法山公園のサインが少ない

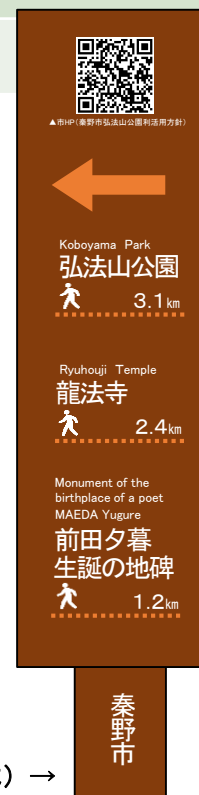
施工期間

令和6年12月中（道標11基、パネル看板2枚）



↑ 道標を設置するコース（東海大学前駅～弘法山公園）

道標のイメージ（素材は擬木）→



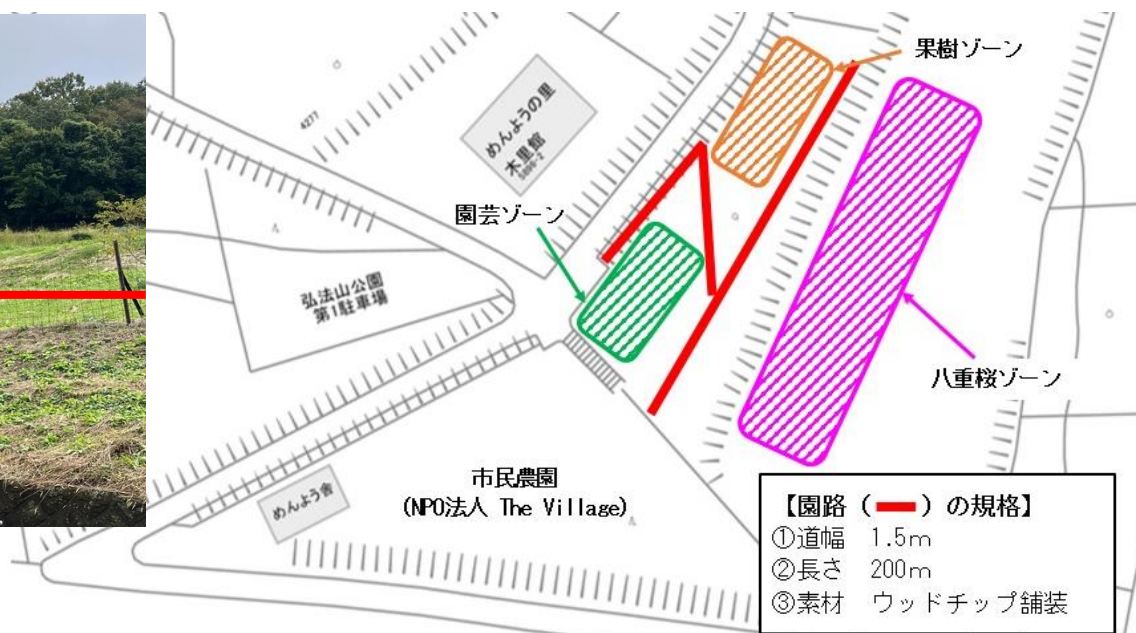
【5. 令和7年度の主な取組】

(1) 旧めんようの里の園路整備

利活用方針	方針1 弘法山公園の持つ“豊かな観光資源の魅力アップ” ① 公園エントランスの明確化
取組根拠	<ul style="list-style-type: none"> 旧めんようの里は、弘法山公園の正面玄関 NPO法人が該当地にて市民農園等の事業を展開予定
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> 来訪者及び滞在時間の増加 豊かな自然環境の活用 市民との連携による有効活用



↑ 向かって左側の現況
(NPO法人と市が連携して整備予定)



園路の想定図(右) ↑

【5. 令和7年度の主な取組】

(2) 馬場道広場への電源設置

利活用方針	方針2 豊かな自然を活かした “弘法山公園の新たな魅力づくり” ② 風光明媚な飲食空間の創出
取組根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度の実証実験を受け、来訪者や出店者から要望有り ・ 来訪者から指摘のあった発電機の騒音を解消
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者及び滞在時間の増加 ・ 定期的なイベント開催 ・ 飲食・休息空間の創出



【5. 令和7年度の主な取組】

(3) パンフレットの作成

利活用方針	方針3 弘法山公園を核としたネットワーク強化による“3駅のにぎわいづくり” ① 弘法山公園を核とした地域活性化方策の展開
取組根拠	<ul style="list-style-type: none"> 3駅～弘法山公園の地域資源を分かりやすく発信 既存のイラストリーフレット「弘法山麓」を刷新
期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレットの充実 歴史・文化資源のPR 3駅にぎわい創出につなげる



イラストマップのリーフレットを持ち歩きしやすいA5版のパンフレットに刷新予定